

平成25年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年9月5日

上場会社名 エイケン工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7265 URL <http://www.eiken-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早馬 義光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役工場長 兼 総務部長 (氏名) 池田 文明 (TEL) 0537-86-3105
 四半期報告書提出予定日 平成25年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第3四半期の業績(平成24年11月1日～平成25年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第3四半期	3,510	△1.7	158	3.6	174	8.0	121	15.7
24年10月期第3四半期	3,572	0.8	152	△9.2	161	△6.1	104	10.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年10月期第3四半期	23.74		—					
24年10月期第3四半期	19.74		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第3四半期	4,970	3,561	71.7
24年10月期	4,835	3,543	73.3

(参考) 自己資本 25年10月期第3四半期 3,561百万円 24年10月期 3,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0.00	—	11.00	11.00
25年10月期	—	0.00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年10月期の業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,553	△2.7	182	△7.9	202	△5.5	125	△12.4	24.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年10月期3Q	7,200,000株	24年10月期	7,200,000株
25年10月期3Q	2,181,185株	24年10月期	1,993,185株
25年10月期3Q	5,099,760株	24年10月期3Q	5,301,767株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策及び日銀の金融緩和により、円安傾向が進み輸出企業の収益の改善及び株価上昇等、景気回復に向けた動きがみられましたが、中国経済の停滞及びデフレの改善がみられない等、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況のなかで、当社が属しております市販メーカーにおいては、カーディーラーでの交換頻度が増えていること及びガソリンスタンドのセルフ化の影響を受けて厳しい状況になっているなかで、海外からの安価な商品の流入等、当社を取り巻く経営環境は一段と厳しさを増しました。

このような環境の中にあつて、当社は、売上高は35億10百万円（前年同四半期比1.7%減）、売上高が減少したものの、第7工場が稼働したことによる生産効率化により経費の削減が出来たことが要因となり、営業利益は1億58百万円（前年同四半期比3.6%増）、経常利益は1億74百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。補助金収入が52百万円減少したものの、経常利益が増加したこと、前年同四半期累計期間に計上した投資有価証券売却損41百万円を計上しなかったこと及び保険解約戻戻金が7百万円増加したことが要因となり、四半期純利益は1億21百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

(フィルター部門)

売上高に関しては、国内売上は同業者向け及びカーショップ向けが減少し、輸出売上は東南アジア及びヨーロッパ向けが増加しました。営業利益に関しては、国内売上が減少したことが要因となり減少しました。

その結果、売上高は32億91百万円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は2億77百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。

(燃焼機器部門)

売上高に関しては、熱交換器及びバーナ部品の売上高が増加しました。営業利益に関しては、売上高が増加したことが要因となり増加しました。

その結果、売上高は2億18百万円（前年同四半期比19.6%増）、営業利益は41百万円（前年同四半期比71.7%増）となりました。

(その他)

前事業年度より、車載用加湿器及びティッシュケース等の販売を開始しました。

その結果、売上高は72万円（前年同四半期比38.5%減）、営業損失は2百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、28億32百万円（前事業年度末比5.3%増）となりました。主な要因は、商品及び製品が79百万円減少したものの、現金及び預金が85百万円、受取手形及び売掛金が94百万円、電子記録債権が32百万円増加したことによるものです。

固定資産は、21億38百万円（前事業年度末比0.4%減）となりました。主な要因は、保険積立金が49百万円増加したものの、建物が43百万円及び建設仮勘定が8百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、49億70百万円（前事業年度末比2.8%増）となりました。

(負債)

流動負債は、12億21百万円（前事業年度末比9.8%増）となりました。主な要因は、短期借入金1億50百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が87百万円、未払法人税等が33百万円、賞与引当金が51百万円増加したことによるものです。

固定負債は、1億87百万円（前事業年度末比4.1%増）となりました。主な要因は、退職給付引当金が5百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は、14億8百万円（前事業年度末比9.0%増）となりました。

(純資産)

純資産合計は、35億61百万円（前事業年度末比0.5%増）となりました。主な要因は、自己株式が68百万円増加したものの、利益剰余金が63百万円及びその他有価証券評価差額金が23百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

該当事項はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,323	907,633
受取手形及び売掛金	1,104,074	1,198,337
電子記録債権	—	32,294
商品及び製品	518,609	438,807
仕掛品	26,887	44,383
原材料及び貯蔵品	148,896	153,312
その他	68,915	58,865
貸倒引当金	△1,117	△1,241
流動資産合計	2,688,590	2,832,393
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	899,534	855,938
その他(純額)	956,040	936,705
有形固定資産合計	1,855,575	1,792,644
無形固定資産		
	8,157	4,867
投資その他の資産		
その他	284,090	341,705
貸倒引当金	△826	△776
投資その他の資産合計	283,264	340,929
固定資産合計	2,146,997	2,138,441
資産合計	4,835,587	4,970,834
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	196,088	283,940
短期借入金	730,000	580,000
未払法人税等	32,106	65,815
賞与引当金	24,906	76,500
その他	129,583	215,570
流動負債合計	1,112,684	1,221,827
固定負債		
退職給付引当金	115,750	121,706
役員退職慰労引当金	4,386	4,386
資産除去債務	10,173	10,173
その他	49,360	50,762
固定負債合計	179,671	187,029
負債合計	1,292,356	1,408,856

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,800	601,800
資本剰余金	389,764	389,764
利益剰余金	3,438,129	3,501,958
自己株式	△893,520	△962,320
株主資本合計	3,536,173	3,531,203
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,057	30,774
評価・換算差額等合計	7,057	30,774
純資産合計	3,543,231	3,561,978
負債純資産合計	4,835,587	4,970,834

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
売上高	3,572,986	3,510,839
売上原価	3,021,195	2,955,752
売上総利益	551,791	555,086
販売費及び一般管理費	398,908	396,767
営業利益	152,883	158,319
営業外収益		
受取利息	329	541
受取配当金	4,922	5,343
投資有価証券評価益	96	—
受取賃貸料	6,762	10,575
その他	1,889	6,061
営業外収益合計	14,000	22,521
営業外費用		
支払利息	2,060	3,110
売上割引	2,949	2,755
その他	119	321
営業外費用合計	5,129	6,186
経常利益	161,754	174,653
特別利益		
固定資産売却益	—	273
投資有価証券売却益	—	802
補助金収入	61,197	9,044
保険解約返戻金	1,004	8,545
受取保険金	454	—
特別利益合計	62,656	18,665
特別損失		
固定資産除却損	606	999
投資有価証券売却損	41,950	—
特別損失合計	42,556	999
税引前四半期純利益	181,854	192,319
法人税、住民税及び事業税	106,603	102,223
法人税等調整額	△29,447	△31,007
法人税等合計	77,156	71,215
四半期純利益	104,697	121,104

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自平成24年11月1日至平成25年7月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期累計期間(自平成24年11月1日至平成25年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 損益計算書 計上額 (注3)
	フィルター 部門	燃焼機器 部門	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	3,291,413	218,697	3,510,110	728	3,510,839	—	3,510,839
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,291,413	218,697	3,510,110	728	3,510,839	—	3,510,839
セグメント利益 又は損失(△)	277,893	41,199	319,093	△2,135	316,957	△158,638	158,319

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に総務部等管理部門の一般管理費及び研究開発費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成24年11月1日至平成25年7月31日)

該当事項はありません。

以上